

決 裁	議 長	局 長	参 事	

受付

報 告 書

平成 2 6 年 月 日

湯前議会議長 山下 力 様

湯前町議会議員

議員派遣として参加（出席）した研修（会議）の内容（結果）は、次のとおりでありました。

期 間	平成 2 6 年 1 1 月 1 9 日（水）
場 所	平成 2 6 年度町村議会広報研修会
目 的	
報 告 の 内 容	<p>◆研修内容</p> <p>1. 第 1 2 回熊本県町村議会広報コンクール表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本県コンクール入賞作品 特選：南阿蘇村「南阿蘇村議会だより すいげん」 入選：あさぎり町「議会だより あさぎり」、南関町「南関町議会だより 山郷」 特別賞（企画力）：菊陽町「菊陽町議会だより きくよう」 特別賞（先見力）：御船町「あおぞら 2 1」 <ul style="list-style-type: none"> ・審査対象 平成 2 6 年 3 月定例会および 6 月定例会記事掲載号 応募町村数： 2 7 町村 審査員：熊本日日新聞社 N I E 専門委員 熊本大学客員教授

2. 審査員リレー講評

(以下、主な感想を示す。)

◆熊本大学学生グループ「しんぶんカフェ」メンバー

- ・議会広報誌の存在を初めて知った。
- ・手に取って読もうと思わない。 → 読んでみて勉強になった。
- ・文字がびっしり書かれていると読む気がしない。
- ・写真だけでなく解説がほしい。
- ・写真や数字をグラフ化してビジュアル化してほしい。
- ・ページ構成が読みやすさとして重要。
- ・一般質問は短くまとまっていたほうがよい。
 - 一般質問の一問一答記事は読みづらい。
 - 高森町は、内容と回答が見出しのようにまとまっている。
- ・一般質問の答弁は「検討します」が多い。本当に実行したのかチェックしてほしい。
- ・特別な事情がないと傍聴に行かない。
 - 議会を知るために傍聴や議会広報誌は重要
- ・用語や決議内容の解説を入れてほしい。
 - 一般質問とは？議員の仕事とは？
- ・議会傍聴に関する情報を入れてほしい。
 - 次回の議会、場所、受付方法、予約不要で気軽に参加できること。
- ・南阿蘇村や五木村、西原村などの住民意見がおもしろい。
 - 住民要望を取り入れるコーナーをつくってほしい。
- ・どうすれば多くの人に読んでもらえるのかを考える。
 - 誰が読んでいるのか？地域の人を巻き込んだ広報にしたほうがよい。
 - 読者目線であること。
- ・字の大きさやフォントが見やすいこと。
- ・議員の印象は、来賓に顔を出すえらい人という印象しかなかった。
 - 議員とは一住民で、近くにいるちょっとお節介なおじちゃん、おばちゃんのような存在なんだと感じた。
- ・議員が研修などで学んできたことや考えを知りたい。
- ・今の若者は、政治や社会への興味が無い。
 - 議会だよりを通じて、楽しさや可能性をいろんな方法で伝えてほしい。

◆熊本日日新聞社編集局文化生活部次長（編集委員） 中村美弥子氏

- ・住民が関心を持つ内容を詳しく書く。
- ・予算などの一部をコーナーでちらっと説明する。

◆クリエイティブディレクター 佐々木貴子氏

- ・行間が狭いと読みづらい。
- ・3原色（赤、青、黄）を使うと見づらくなる。 → 色味を落とす。
- ・色相（同系色80～90%、反対色20～10%）を利用する。
- ・一般質問では、議員の顔写真を入れ、質問と回答の見出しを付ける。
- ・自分の家族など、いろんな目線で考える。

◆熊本日日新聞社N I E専門委員 熊本大学客員教授 越地真一郎氏

- ・表紙はアップ写真がよい。
- ・項目をピックアップして取り入れる。（取捨選択）
→ 広報誌はあれも・これもは通らない。
- ・タイトルは、中身があるものを持ってくる。
- ・リード部分は必ず付ける。 例. 「今回のポイントは～」
- ・「検討します」の追跡レポートはおもしろい。
- ・写真や画像は、目的があるもの（積極的イラスト）を入れる。

3. クリニック「入賞作（熊本県及び全国）に学ぼう」

熊本日日新聞社N I E専門委員 熊本大学客員教授 越地真一郎氏

（以下、参考になるチェックポイントを示す。）

◆確認

- ・住民目線がカギ。内（議会や執行部）と外（住民）のどっちを意識するか
- ・（質問も回答も）自分には分かる → 他人にも分かるか
- ・自己満足より読者の満足度優先
- ・紙面は議員個人のものではない、議会全体のもの
→ 議会としてのルールが必要（個性的になってはいけない）
- ・報告に終わらず、立ち止まって考える企画、特集、提案型記事を
- ・議会の存在感発揮を（賛否両論、否決、主催行事など）
→ 見出しを大きく取り扱う

◆一般質問

- ・見出しに「〇〇について」パターンが依然として多く、インパクトと具体性に欠ける
- ・見出しの言葉が文中にない
- ・質問、答弁の文体に「～です」調と「～である」調が混在。統一を。
「～である」調の方が字数が減り、歯切れもいい
- ・質問項目は網羅主義より重点主義。詳細は議事録で
- ・取り上げなかった項目は個条書きで紹介。勇気を持って取捨！！

- ・だれが、どんな形で編集して掲載しているのかの説明を。

「各議員の責任のもと編集・・・」など。責任の自覚

◆予算関係

- ・数字紹介だけでは住民には分かりにくい。重点事項にはコメントを
- ・議案の羅列は退屈、読む気にならない。幾つかのポイント説明を

◆用字・用語

- ・人数表記で「〇名」と「〇人」が混在。「〇人」に
 - ・「勿論」「又」「色々」「～して頂きたい」などはひらがな書き。
- 用語（記者）ハンドブック活用

◆その他

- ・写真説明が軽視されている。もっと丁寧に親しみやすく
- ・記事量によって文字の大きさや行間がまちまちなのは見苦しい
- ・間き慣れない議会用語を「豆ちしき」などで解説すると親切
- ・「議会広報はこんなもん」という先入観を捨てる。チャレンジ精神で！！
- ・難しいことを分かりやすく、硬いことを軟らかく

◆見出し=コンパクト+インパクト

- ・一番伝えたいことを節潔に表し、全体像がわかる
- ・文中の言葉を生かし、中身を具体的に伝える
- ・見出し（中身）とタイトル（項目）の違い

◆全国最優秀賞に学ぶ(平成24、25年度)

- ①平成25年度最優秀賞岩手県金ケ崎町「議会だよりかねがさき」（106号）
- ②平成24年度最優秀賞山形県庄内町「こんにちは庄内町議会です」（31号）

◆3つの気付きを

- ①“神業”編集の自覚 → 客観性を人の何倍も持つ
- ②全議員の共通認識 → ひな型をつくる
- ③編集委員会（広報委員会）の役割大、権限強化

◆議会広報の危機と可能性

- ・例えば、子ども向け特集を設ける。

【感想】

- ・議会とは何のしがらみもない熊本大学学生グループ「しんぶんカフェ」メンバーからのコメントが、住民目線の感想としてとても印象的だった。
- ・全国的に「議会だより」が見やすくなっていることは共感を持てる。ただし、内容に凝りすぎて本来の議会運営に支障があってはならない。また、議会だよりの広報担当者が入れ替わっても、その内容が維持できるかが大きな課題ではないか？
- ・湯前町議会では、現状どおりシンプルながらも、住民目線の分かりやすい議会だよりを追究したほうがよい。

広報担当が変わっても同じ品質の議会だよりを編集できるように、昨年と今回の研修で学んだ内容を盛り込んだ「議会だよりチェックポイント、ひな型」を広報担当で作成したい。



↑熊本大学学生グループ「しんぶんカフェ」メンバーの4名